

Bluetooth インターフェイス
モバイルバーコードスキャナ
BW-130BT2
Bluetooth V2.1 接続手順書
Version 0001.0033 以上用

AIMEX Corporation

BW-130BT2:201509011

はじめに

本書は、BW-130BT2 とパソコン、スマートフォン、タブレットなどと Bluetooth 接続を行うための説明書です。本書では、USB Bluetooth アダプタを使用したパソコン、Bluetooth 無線搭載スマートフォン、Bluetooth 搭載 iPhone を接続先機器として説明をします。その他の機器につきましては、機器付属のマニュアル等をご参照ください。

使用構成：

1. BW-130BT2 Bluetooth モバイルスキャナ
2. BT-Micro4 プラネックスコミュニケーションズ株式会社製 Motorola 社製 Bluetooth チップ
Bluetooth 4.0 Proximity Profile(PXP)、Find Me Profile(FMP)に対応
※コンピュータは Windows 7 32bit OS および Windows 8 64bit OS を使用します。
3. ISW13F ARROWS Z au 携帯電話 富士通社製スマートフォン Android 4.0
Bluetooth 4.0 + EDR
4. iPhone 5S アップル社製 iOS バージョン 8.4.1
Bluetooth Ver.4.0
5. RS-Keyboard Ver3 Windows OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト
6. SKT330 Android OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト

※各機種の詳細につきましては、機器付属のマニュアルでご確認ください。

※本書は、各機器との Bluetooth 通信を保証するものではありません。 ご使用環境によっては正常に Bluetooth 通信ができないこともあります。

BW-130BT2 が未接続状態ですと、設定コードをスキャンすることができません。
その場合には、本体から乾電池を外して、トリガボタンを押した状態で乾電池を挿入することで設定開始状態になります。再起動すると設定したモードが有効になります。

初期化（出荷状態）



目 次

1. コンピュータとの接続方法	1
1-1. Windows 7 コンピュータとの SPP 接続	1
1-1-1. Bluetooth 設定	1
1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	2
1-1-3. ペアリングの開始	2
1-2. Windows 7 コンピュータとの HID 接続	4
1-2-1. Bluetooth 設定	4
1-2-2. ペアリングの待ち状態	4
1-2-3. ペアリング検出	5
1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続	8
1-3-1. Bluetooth 設定	8
1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	8
1-3-3. ペアリングの開始	9
1-4. Windows 8 コンピュータとの HID 接続	12
1-4-1. Bluetooth 設定	12
1-4-2. ペアリングの待ち状態	12
1-4-3. ペアリング検出	13
2. Android 端末との接続方法	15
2-1. Android 端末との SPP 接続	15
2-1-1. SKT330 ユーティリティの起動	15
2-1-2. SKT330 の選択	16
2-1-3. 入力方法の切替	16
2-1-4. Bluetooth 設定・確立	17
2-1-5. ペアリングの開始	17
2-2. Android 端末との HID 接続	19
2-2-1. Bluetooth 設定	19
3. iOS 端末との接続方法	22
3-1-1. ペアリングの開始	22
3-1-2. Bluetooth 設定	22
4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法	25
4-1-1. BTR-UK3 モード設定	25
4-1-2. Bluetooth 設定	25
4-1-3. ペアリングの開始	26
5. 接続先 Bluetooth アドレス解除方法	27
5-1. 登録 Bluetooth アドレスのクリア	27
6. 工場出荷状態	27

1. コンピュータとの接続方法

市販のUSB Bluetooth アダプタまたは内蔵 Bluetooth ユニットの搭載したコンピュータとの接続手順を説明します。

BW-130BT2 は、コンピュータとの Bluetooth 接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・ SPP（Serial Port Profile） シリアル通信入力
- ・ HID（Human Interface Device Profile） キーボード入力

スキャンできない場合には、乾電池1本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

1-1. Windows 7 コンピュータとの SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定



USB Bluetooth アダプタ同梱 CD を使用してドライバのインストールを事前に行ってください。

インジケータ内（図-1）に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。



図-1

1-1-1. Bluetooth 設定

- 図-1 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面（図-2）の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。
- 左側アイコン群より青枠の RS232C（DB9）コネクタを選択します。

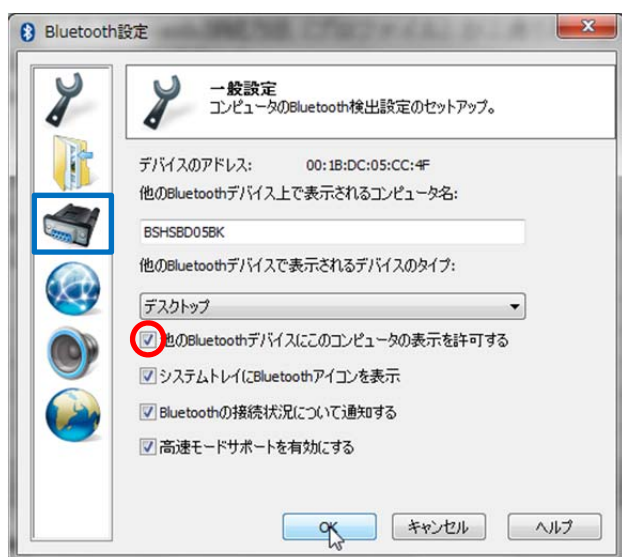


図-2

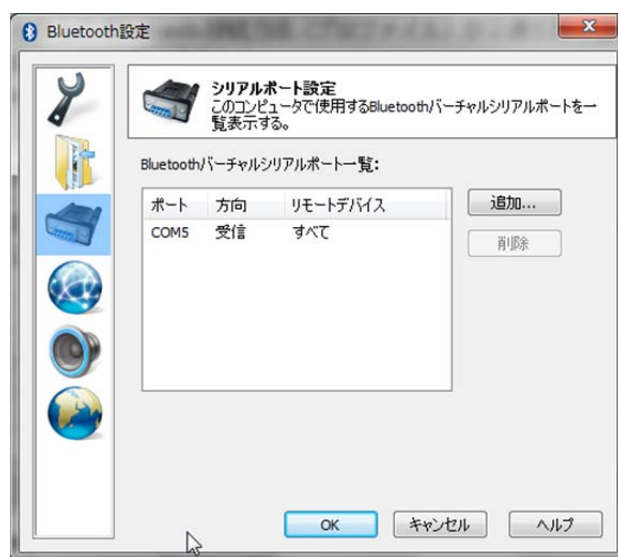


図-3

- Bluetooth バーチャルシリアルポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加...」ボタンをクリックして図-3のようにポート番号を表示させてください。
※コンピュータの環境によってポート番号（図-3では**COM5**：5番）は異なります。
- 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- インジケータ内 (図-4) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- 図-4 の RS-Keyboard アイコンを右クリックして「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



図-4

d) パラメータ設定

ポート番号：図-3 で表示された番号
 ボーレート：115200bps
 データビット：8 ビット
 ストップビット：1 ビット
 パリティ：Even (偶数)
 フロー制御：なし
 伝送手順：ACK/NAK 手順 STX/ETX

終端キーに Enter を初期値で設定

終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。

確定の「OK」ボタンをクリックします。



図-5

1-1-3. ペアリングの開始



図-6

- Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-6) して上下 LED が緑色に点灯します。
 ※BW-130BT2 より Bluetooth デバイスを検索します。
- ペアリング可能な機器に「セキュアなペアリング要求」(図-7) を表示します。
- 「OK」ボタンをクリックしてペアリングを実行します。

- ペアリングが成功すると下側 LED (小さい LED 窓) がゆっくりの緑色点滅に変わります。
 ※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。
 接続が完了するとバイブレーションで知らせます。



図-7

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの SPP 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動しませんとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

1-2. Windows 7 コンピュータとのHID 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth 標準 HID モードに設定

スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。



USB Bluetooth アダプタ同梱 CD を使用してドライバのインストール事前に行ってください。
インジケータ内 (図-8) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-2-1. Bluetooth 設定

- 図-8 の Bluetooth アイコンを 右クリック して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面 (図-9) の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。



図-8

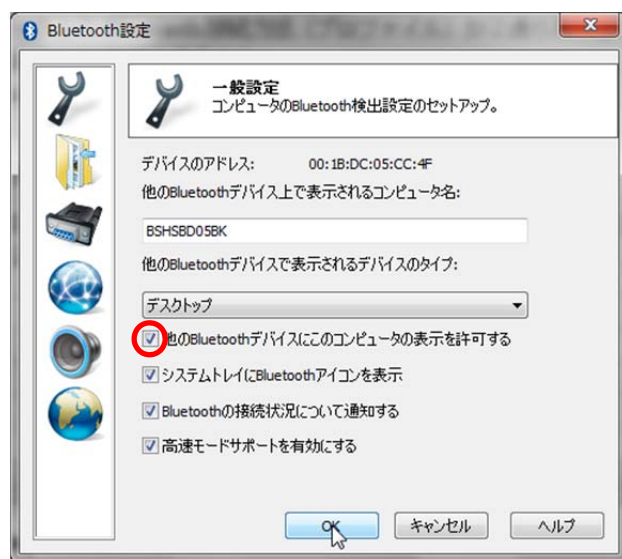


図-9

1-2-2. ペアリングの待ち状態

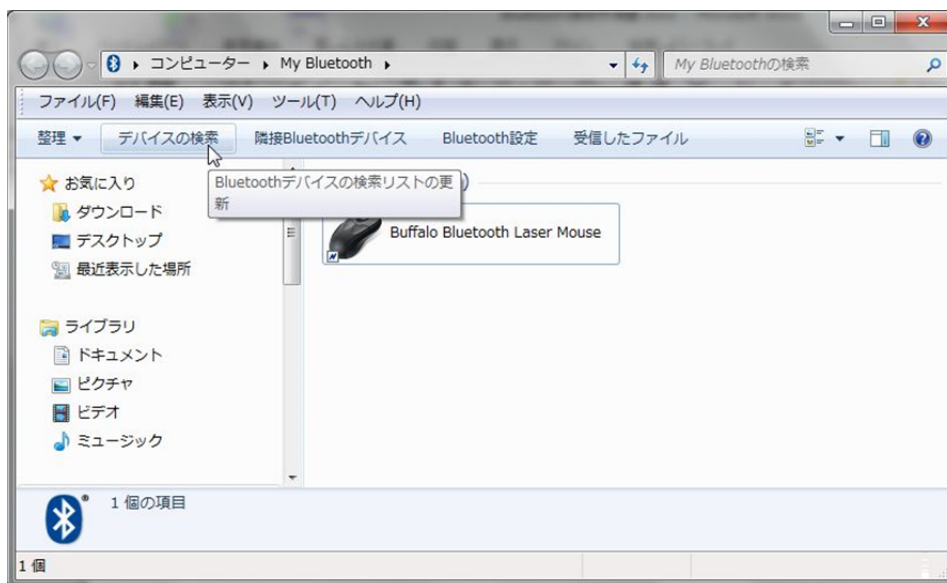


図-10

- Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-10) して上下 LED が緑色に点灯します。
※コンピュータより BW-130BT2 を検索します。

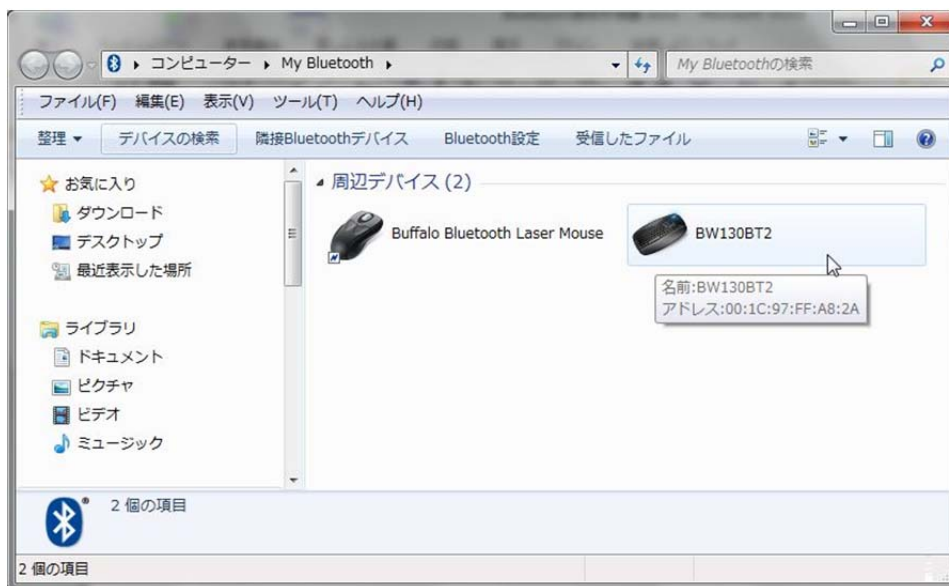
1-2-3. ペ어링検出

図—8の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「My Bluetooth を開く」を選択してください。



図—1 1

a) メニューバーの「デバイスの検索」(図—1 1) をクリックします。



図—1 2

b) 検出した「BW-130BT2」アイコン（図—1 2）をクリックします。



図—1 3

c) 「接続」ボタン（図—1 3）をクリックします。

BW-130BT2 とペアリングを確立するために「セキュアなペアリング要求」（図—1 4）の「OK」ボタンをクリックする。



図—1 4

e) ペ어링完了

ペアリング確認のブザー音が流れて下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。



図—1 5

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定

スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

①



②



③



Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (図-16) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-3-1. Bluetooth 設定

- 図-16 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面 (図-17) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。
- 「COM ポート」タブを選択します。



図-16

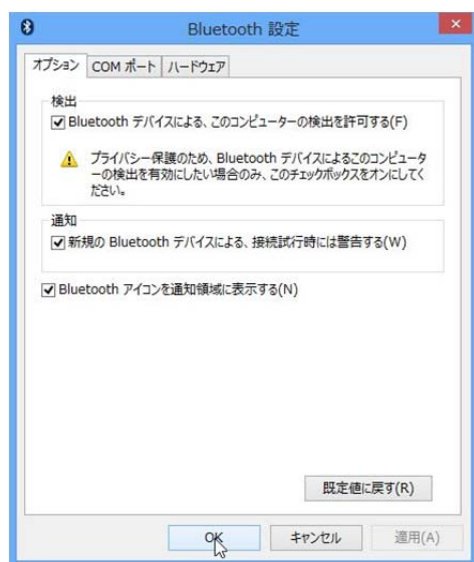


図-17

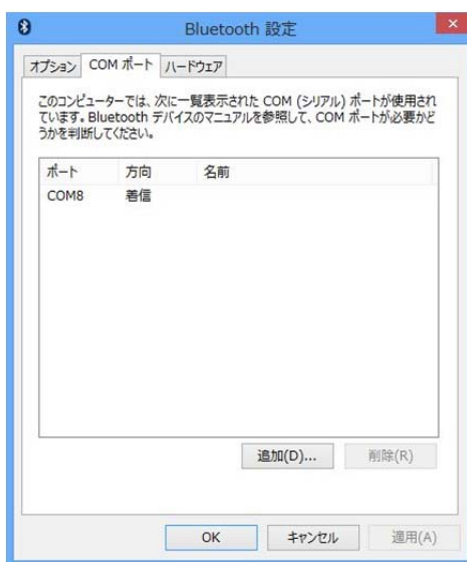


図-18



- ポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加 (D) ...」ボタンをクリックして図-18のようにポート番号を追加してください。

※コンピュータの環境によってポート番号 (図-18では **COM 8** : 8 番) は異なります。

- 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- インジケータ内 (図-19) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- 図-19 の RS-Keyboard アイコンを 右クリック して「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



図-19

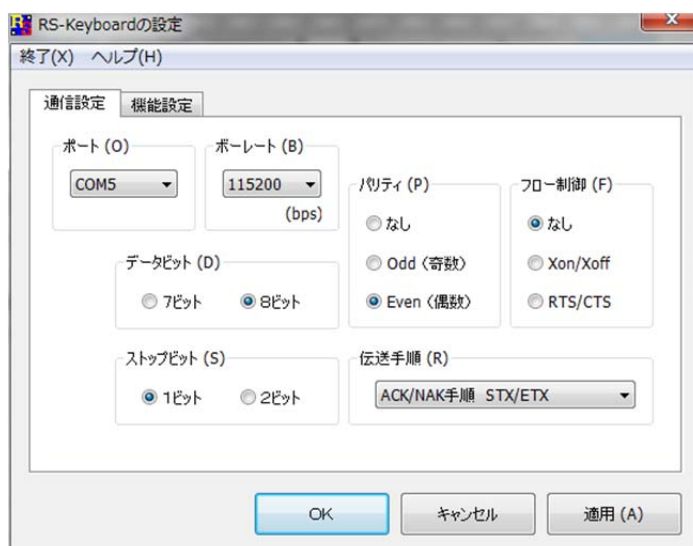
i) パラメータ設定

ポート番号：図—1 8で表示された番号
 ボーレート：115200bps
 データビット：8 ビット
 ストップビット：1 ビット
 パリティ：Even（偶数）
 フロー制御：なし
 伝送手順：ACK/NAK 手順 STX/ETX

終端キーに Enter を初期値で設定

終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。

確定の「OK」ボタンをクリックします。



図—2 0

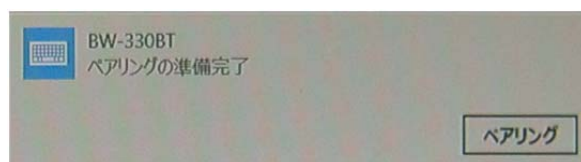
1-3-3. ペアリングの開始



図—2 1

a) Power ボタンを 5 秒以上長押し(図—2 1)して上下 LED が緑色に点灯します。
 ※BW-130BT2 より Bluetooth デバイス（端末）を検索します。

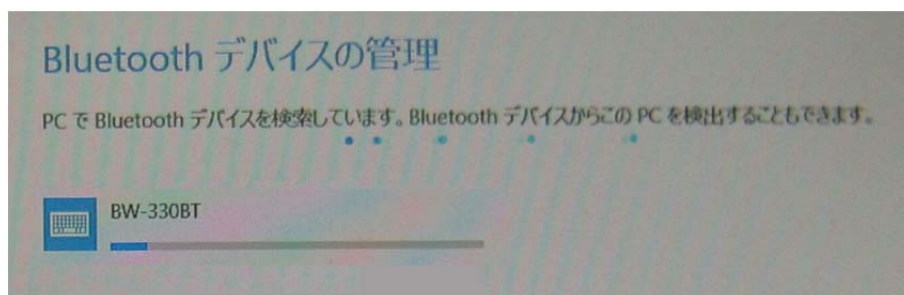
b) デバイスの追加



※「ペアリング」をクリックする。



c) ペアリングを開始します。



図—2 2

※バー表示が完了する前に BW-130BT2 の電源が OFF になったらトリガボタンを押して起動する。

d) ペアリングが成功すると下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。
 ※ペアリングに失敗しますとビーブ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの SPP 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動しませんとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り扱いになりますので正常に動作できなくなります。

Bluetooth アイコン表示方法：

アイコントレイ内に Bluetooth アイコン（赤丸枠）が存在しない場合には、以下の手順でアイコンを表示させるように変更してください。

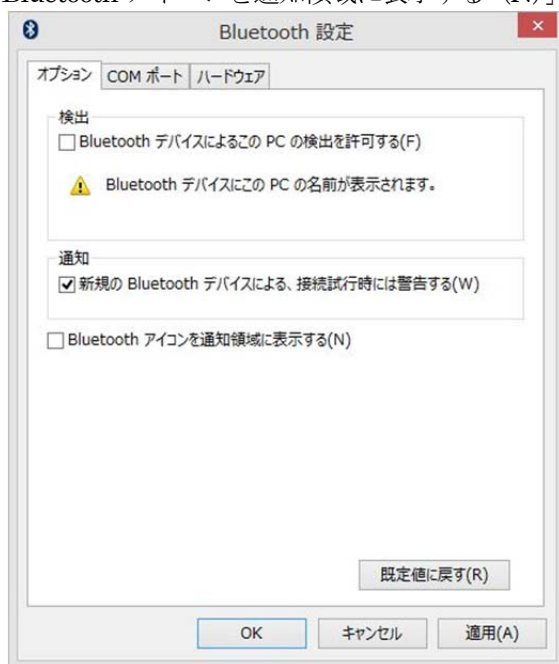
- 1) カーソルを画面右上に合わせてメニューバーを表示させる。
- 2) 「検索」を選択する
- 3) 検索窓に「Bluetooth」と入力する。



- 4) 「Bluetooth 設定の変更」を選択する。



- 5) 「Bluetooth アイコンを通知領域に表示する (N)」にチェックを入れる。



- 6) 「適用 (A)」ボタンを選択する。

8 ページ 1-3-1. Bluetooth 設定へ戻って操作を続けてください。

1-4. Windows 8 コンピュータとのHID 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth 標準 HID モードに設定

スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。



Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (図-2 3) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-4-1. Bluetooth 設定

- c) 図-2 3 の Bluetooth アイコンを 右クリック して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- d) 表示された Bluetooth 設定画面 (図-2 4) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。



図-2 3

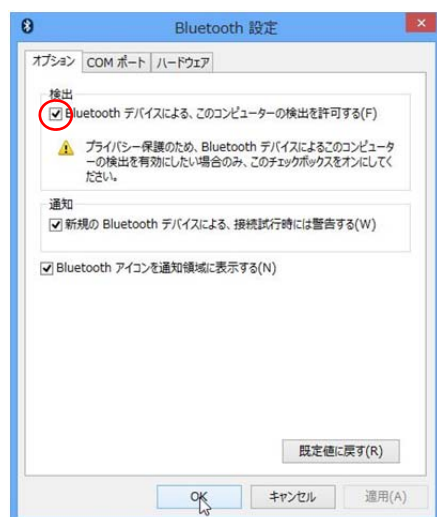


図-2 4



1-4-2. ペアリングの待ち状態

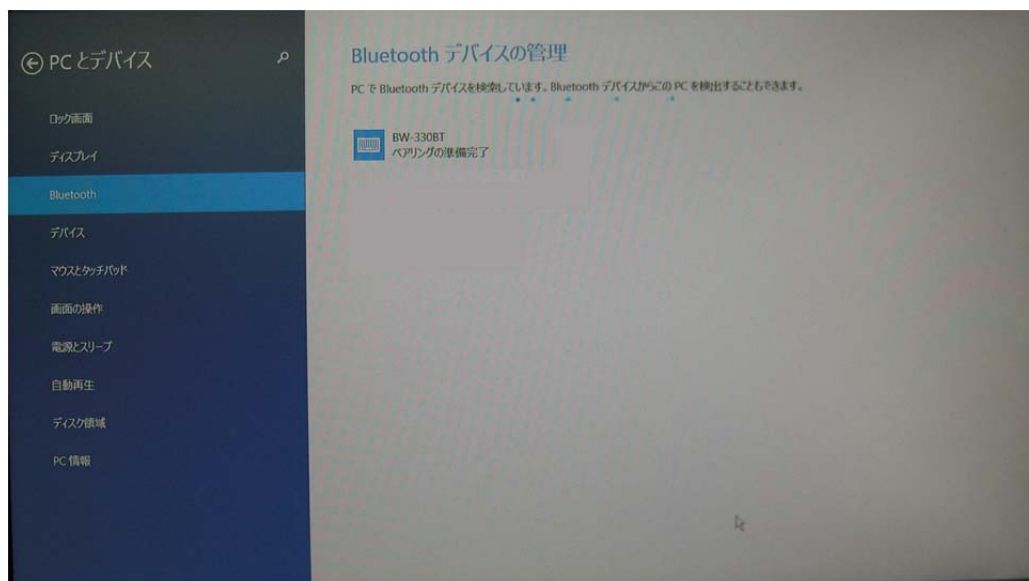


図-2 5

- a) Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-2 5) して上下 LED が緑色に点灯します。
※コンピュータより BW-130BT2 を検索します。

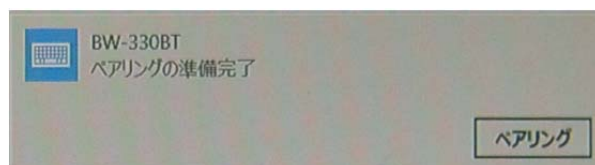
1-4-3. ペアリング検出

Bluetooth アイコンを[右クリック](#)して表示されるメニューより「Bluetooth デバイスの追加 (A)」を選択してください。



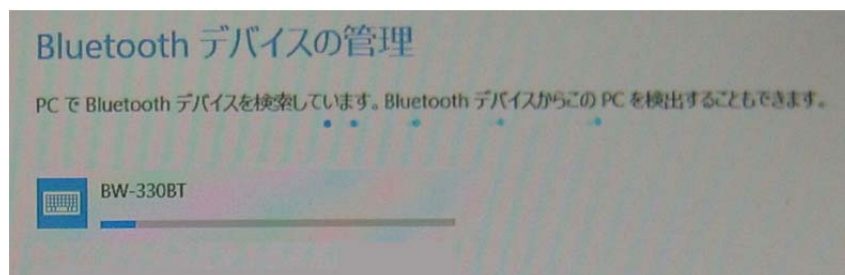
図—2 4

a) Bluetooth デバイスの管理 画面で検出した「BW-130BT2」アイコンをクリックします。



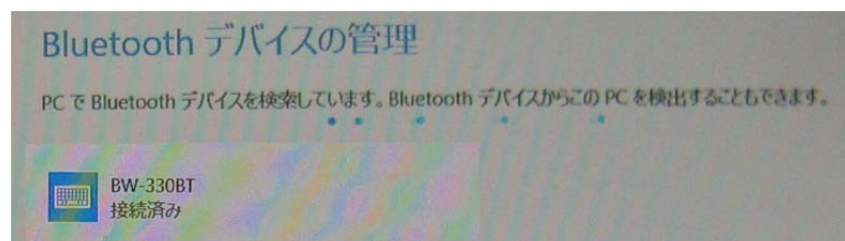
図—2 5

b) 「ペアリング」ボタンをクリックして接続します。



図—2 6

c) ペアリングが完了します。



図—2 7

BW-130BT2

BW-130BT2 本体はペアリング確認のブザー音が流れて下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。 接続が完了するとバイブレーションで知らせます。

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。 万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

2. Android 端末との接続方法

内蔵 Bluetooth ユニットの搭載した Android 端末（以下端末と略す）との接続手順を説明します。

BW-130BT2 は、コンピュータとの Bluetooth 接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・SPP（Serial Port Profile） シリアル通信入力
- ・HID（Human Interface Device Profile） キーボード入力

スキャンできない場合には、乾電池1本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

2-1. Android 端末との SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定



2-1-1. SKT330 ユーティリティの起動

SKT330 は、製品版（有償）と評価版（無償）の2種類があります。

SKT330 評価版は、弊社ホームページのダウンロードサイトより入手可能です。

「SKT330」製品版は、弊社 営業員までお問い合わせください。

詳細につきましては、「SKT330 取扱説明書」をご覧ください。

「BW330BT Utility」を起動します。



図-28

SKT330 は BW-130BT2 を端末と接続するための弊社推奨ドライバソフトです。

SKT330 はドライバソフト本体と Bluetooth 接続ユーティリティの2つの構成になります。

「BW330BT Utility」アプリケーションは、Bluetooth 通信に関する設定を全て自動で行うためのユーティリティです。

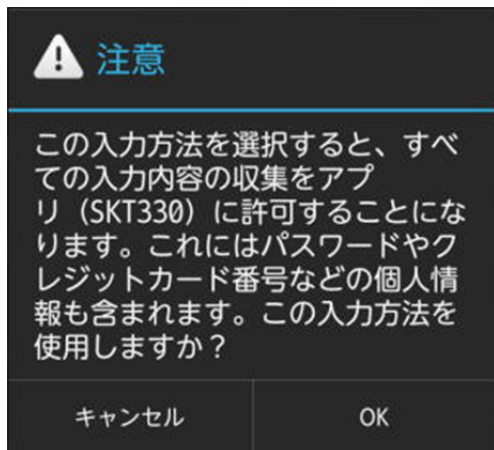
※SKT330 は、ピュア・テクノロジーズ株式会社様で BW-130BT2 用に開発したドライバソフトです。日本語表記のデータも表示可能です。

「ペアリング」をタップする。 自動でペアリングが終了します。

2-1-2. SKT330 の選択

端末の「設定」⇒「言語と入力設定」を選択して「SKT330」にチェックを入れる。(図—3 0)

図—2 9の注意画面が表示されますので「OK」を選択してください。



図—2 9



図—3 0

2-1-3. 入力方法の切替

「デフォルト」をタップして「入力方法の選択」から「SKT330」を選択します。

※「デフォルト」の選択ができない場合には、キー入力画面でカーソル位置を長タップして「入力方法の選択」を表示してください。

※BW-130BT2 は、初期値でポストアンブルを「許可する」設定になっていますので、複数の改行が入力されますので「許可しない」設定にしてください。



図—3 1

2-1-4. Bluetooth 設定・確立

「BW330BT Utility」アプリケーションにて自動で設定しますので、オペレータは操作不要です。
ペアリング待ち状態は図-3 2の表示です。

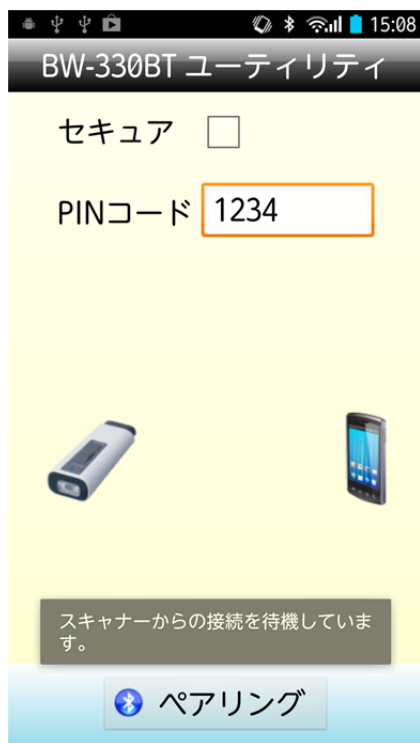


図-3 2



図-3 3

2-1-5. ペアリングの開始

a) Power ボタンを5秒以上長押し（図-3 4）して上下LED
が緑色に点灯します。

※BW-130BT2 より Bluetooth デバイスを検索します。



図-3 4

ペアリングが完了すると図-3 3に変わります。

以上の操作で BW-130BT2 と Android 端末の SPP 接続は終了いたしました。

「BW330BT Utility」アプリケーションを終了します。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

端末を起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard AR を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので SKT330 を起動しませんがメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、SKT330 を選択しないでください。シリアルポートの取り扱いになりますので正常に動作できなくなります。

2-2. Android 端末との HID 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth 標準 HID モードに設定

スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。



2-2-1. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

- 端末の「設定」⇒「Bluetooth」の「OFF」をスライドして「ON」に変更します。
- 「Bluetooth」をタップして詳細画面（図—3 7）を表示します。



図—3 5

- 図—3 6 の画面が表示されますので「OK」を選択します。



図—3 6

BW-130BT2

d) ペアリングの開始

Power ボタンを5秒以上長押し（図—3 7）して上下 LED が緑色に点灯します。

※機器より BW-130BT2 を検索します。



図—3 7

e) 「デバイスの検索」（図—3 8）をタップして BW-130BT2 を探します。



図—3 8

f) ペアリング完了

ペアリング確認のブザー音が流れて下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。接続が完了するとバイブレーションで知らせます。

以上の操作で BW-130BT2 と Android 端末の HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

3. iOS 端末との接続方法

iOS 4.0 以上が接続可能です。

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth iPhone/ iPad HID モードに設定

スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。



3-1-1. ペアリングの開始

a) Power ボタンを 5 秒以上長押し（図—3 9）して上下 LED が緑色に点灯します。

※機器より BW-130BT2 を検索します。



図—3 9

3-1-2. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

a) 端末の「設定」⇒「一般」⇒「Bluetooth」の「オフ」（図—4 0）をスライドして「オン」に変更します。

b) 自動でデバイスの検索を開始します。



図—4 0

c) 端末に表示された「BW130BT2」をタップしてペアリングを開始します。

d) Bluetooth ペアリングの要求 (図—4 1) の「ペアリング」ボタンをクリックする。



図—4 1

d) ペアリング完了

下側 LED (小さい LED 窓) がゆっくりの緑色点滅に変わります。



図—4 2

以上の操作で BW-130BT2 と iOS 端末の HID 接続は終了いたしました。

※ペアリング完了後はトリガボタンを押して BW-130BT2 の電源を入れます。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法

BW-130BT2は、出荷状態でBluetooth SPP Masterモードに設定していますので、Bluetooth BTR-UK3 (HID) モードに変更します。

4-1-1. BTR-UK3 モード設定

①



②



③



スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

4-1-2. Bluetooth 設定

受信ユニット BTR-UK3 をコンピュータの USB 端子へ挿入します。コンピュータは、BTR-UK3 を USB キーボード (HID) として認識しますのでドライバ等のインストールは必要ありません。

接続先 BTR-UK3 のアドレスを登録

① 設定開始



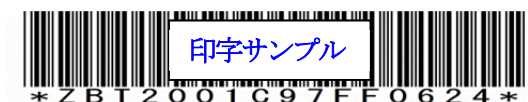
スキャンできない場合には、乾電池 1 本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

②

ドングルアドレス



③ BW-130BT2 で BTR-UK3 本体に貼られたバーコード (図—4 3) をスキャンします。



図—4 3

4-1-3. ペアリングの開始

- a) Power ボタンを5秒以上長押し（図－4 4）して上下LED が緑色に点灯します。
※BW-130BT2 より指定の BTR-UK3 を検索します。



図－4 4

- b) ペアリング完了

BW-130BT2 の下側 LED（小さいLED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。

以上の操作で BW-130BT2 と BTR-UK3 の HID 接続は終了いたしました。

※他の機器へ接続する場合には、dongle アドレスの解除を行う必要があります。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず3の接続を確認してください。

5. 接続先 Bluetooth アドレス解除方法

Bluetooth 通信で限定機器とのペアリングを行う設定「接続先 BT アドレス」または「ドングルアドレス」にて設定した Bluetooth アドレスを解除しませんでした別の機器への接続ができません。

解除方法は2通りあります。

5-1. 登録 Bluetooth アドレスのクリア

① 設定開始



スキャンできない場合には、乾電池1本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

② BT アドレスクリア



6. 工場出荷状態

この設定を実行しますと工場出荷状態へ戻りますので、個別設定を最初から行う必要があります。

工場出荷状態の通信モードは、Bluetooth SPP モード SPP Master 設定となります。

① 設定開始



スキャンできない場合には、乾電池1本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池をセットすると①をスキャンした状態です。

② 工場出荷状態 (完全初期化)



※Power Off 状態になります。

※メモリモードから Bluetooth モードへ変更

Bluetooth 接続しないでスキャンデータを本体に蓄積します。 スキャン時の音がメロディに変わります。下記の設定コードをスキャンすると以前の Bluetooth モードに戻ります。

